

## ○総合的な学習の時間「フォレスト学習」の実施

三本木高等学校から総合的な学習の時間の一環として、森林内での活動体験を通じて、人々の生活や環境との関係について理解と関心を深めることを目的に、日本一のブナまでの歩道を修繕したいと協力要請がありました。このことから、当署も協力することとして、9月2日（木）三本木高等学校1年生201名によるブナ巨木までの歩道修繕を実施しました。

当日は2班に分かれ、遊々の森の中で岩手大学の先生による森林生態学についての講義とブナ巨木までの歩道修繕を交替で行いました。

歩道修繕の作業開始にあたり、署長から森林が持つ機能の大切さや作業に対するお礼の挨拶がありました。その後、上北森林組合の職員の作業指導の下、2名ないし4名のグループに分かれ、各グループ毎にチップの入ったトンバックを担いで泥濘るんでいる歩道3カ所に運びテキパキとチップを敷き歩道修繕は無事終了しました。作業時間の関係でチップの運搬等は一往復を予定していましたが、中には2往復する生徒の姿も見られブナに対する思いが伝わってきました。今後も地域のニーズに応じて、森林環境教育への貢献や森林とのふれあい、国民参加の森林づくり等の積極的な推進に取り組んでいきたいと思えます。

